

洗面化粧台

L.C.< エルシィ > MV

●化粧台本体

LCY1N-755S[J][F]Y(N)-A、905S[J][F]Y(N)-A、VJNT[K]-755S[F]Y(N)、905S[F]Y(N)
LCY1H-755S[J][F]Y(N)-A、905S[J][F]Y(N)-A、1005S[J][F]Y(N)-A、1205S[J][F]Y(N)-A、VJHT[K]-755S[F]Y(N)、905S[F]Y(N)、1005S[F]Y(N)、1205S[F]Y(N)
LCY1FH-755S[J][F]Y(N)-A、905S[J][F]Y(N)-A、1005S[J][F]Y(N)-A、1205S[J][F]Y(N)-A、VJFHT[K]-755S[F]Y(N)、905S[F]Y(N)、1005S[F]Y(N)、1205S[F]Y(N)



取付業者さまへ

●取付けの際は必ずこの取付説明書に沿って正しく取り付けてください。
※この取付説明書に記載されていない方法で取り付けられ、それが原因で故障を生じた場合は、商品保証の対象外となりますので十分ご注意ください。
※水栓金具、電気温水器、即湯システムについては、それぞれに同梱の説明書に沿って正しく取り付けてください。
●同梱の取扱説明書は取付完了後、必ずお客さまにお渡しください。
※保証書（取扱説明書裏表紙裏面）に貴店名、取付日を忘れずにご記入ください。

安全のために必ずお守りください

ここでは取付けに際して、守らなければ人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。作業前にこの項目をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。
●用語および記号の説明

	警告	取付けを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
	注意	取付けを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。
		「してはいけません！」 （一般的な禁止記号です。）
		「分解してはいけません！」
		「指示通りにしなさい！」 （一般的な行動指示記号です。）

	警告
	●電気工事・水道工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う。 ※火災、感電、水漏れの原因になることがあります。
	●修理技術者以外の人は絶対に分解や修理・改造を行わない。 ※ケガや故障の原因になります。

	注意
	●スライド蝶番の調節後は必ずAねじ、Cねじ、取付ねじが固く締め付けられていることを確認する。 ※緩んでいると、蝶番が外れて扉が落下し、ケガをする恐れがあります。
	●湯水を逆に配管しない。
	●電源プラグを抜くときはコード部分を持って引っ張らない。必ず先端のプラグ部分を持って引き抜く。 ※感電やショート・発火による火災の恐れがあります。
	●浴室内などの高温多湿な場所や水に浸る可能性がある床面には設置しない。 ※木部の膨れや変形、漏電・感電の恐れがあります。

お願い
●直射日光やスポット照明、殺菌灯が直接当たる場所に放置しない。 ※変色や変形の原因になります。
●不陸が5mm/2mを超える場合は必ず壁を施工し直す。 ※不陸があるまま取り付けると、キャビネットがひずむ恐れがあります。

お願い
●洗面ボウル表面は傷つきやすいので注意して作業する。 ・上に乗らない。 ・キャビネットや工具などの固い物を上に落としたり、載せて引きずったりしない。 ※キズが付くと補修しても完全に元の状態には戻りません。
●洗面化粧台の木製部分に、養生テープなどの粘着物を付着させない。 ※表面材の剥がれを引き起こす原因になります。
●酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコールなどの溶剤や油類を使用して本体を拭かない。 ※変色や変形の恐れがあります。
●壁面工事や建築仕上げ工事に使われる溶剤・接着剤・洗剤・テープ類・その他の薬品類は、容器などに記載の注意事項に従う。 ※人体への悪影響や使用部材の劣化、破損の原因になります。
●給水・給湯管および排水管が所定の位置に取り出していない場合は、必ず取り出し直す。 ※取出し位置がずれたまま接続すると漏水の原因になります。

付属部品

付属部品の内容と数量が合っていることを確認してください。

●化粧台本体

品番		シングルレバーシャワー水栓	即湯シングルレバーシャワー水栓
	扉タイプ	LCY1N-755(※1)S[J]Y(N)-A VJNT[K]-755(※1)SY (N)	LCY1N-755(※1)S[J]FY(N)-A VJNT[K]-755(※1)SFY (N)
	引出タイプ	LCY1H-755(※2)S[J]Y(N)-A VJHT[K]-755(※2)SY (N)	LCY1H-755(※2)S[J]FY(N)-A VJHT[K]-755(※2)SFY (N)
	フルスライドタイプ	LCY1FH-755(※2)S[J]Y(N)-A VJFHT[K]-755(※2)SY (N)	LCY1FH-755(※2)S[J]FY(N)-A VJFHT[K]-755(※2)SFY (N)
水栓金具		1 セット	
ポップアップ排水栓セット（組付出荷）		1 セット	
排水トラップ		1 個	
排水アダプター		1 個	
排水プレート		1 枚	
高さレベル調整用スペーサーセット		1 セット（1mm、2mm、3mm 用：各 4 個）	
即湯器		－	1 個
即湯器配管セット		－	1 セット
固定用ねじ（トラスφ4.0×50mm）		2 本	
取付説明書・取扱説明書		各 1 部	

※1=905 ※2=905, 1005, 1205

●対面収納キャビネット

品番	トールキャビネット LCWS-372SA LCVS-372SAN	ベースキャビネット LCVB-752SA
棚板	2枚	2枚
棚ダボ	8個	8個
固定用ねじ	B：4 本	4本 （トラスφ4.0×50mm）
キャビネット連結ねじ （トラスφ4.0×25mm）	2本	－

表中の A・B は下記ねじをあらわします。

A	B
平頭φ4.5×60mm 化粧キャップ	平頭φ4.5×60mm

●ミドルキャビネット

品番	LCYK-252C VJK-252C
棚板	1 枚
棚ダボ	4個
固定用ねじ	B：4 本

●ランドリーキャビネット

品番	LCVK0-652 LCVK0-752
固定用ねじ	A：4 セット

●エンドパネル

品番	LCWE-035、LCWE-035T
固定用ねじ(皿φ4.5×45mm)	4本
化粧キャップ用ワッシャー	4個
化粧キャップ	4個

●アップーキャビネット

品番	LCYU-155(※3)C VJU-155(※3)C	LCYU-755C VJU-755C	LCYU-905(※4)C VJU-905(※4)C
固定用ねじ	B：4 本	B：4 本	B：6 本
キャビネット連結用ねじ （トラスφ4.0×25mm）	2 本	－	－

※3=255, 305, 455 ※4=1005, 1205

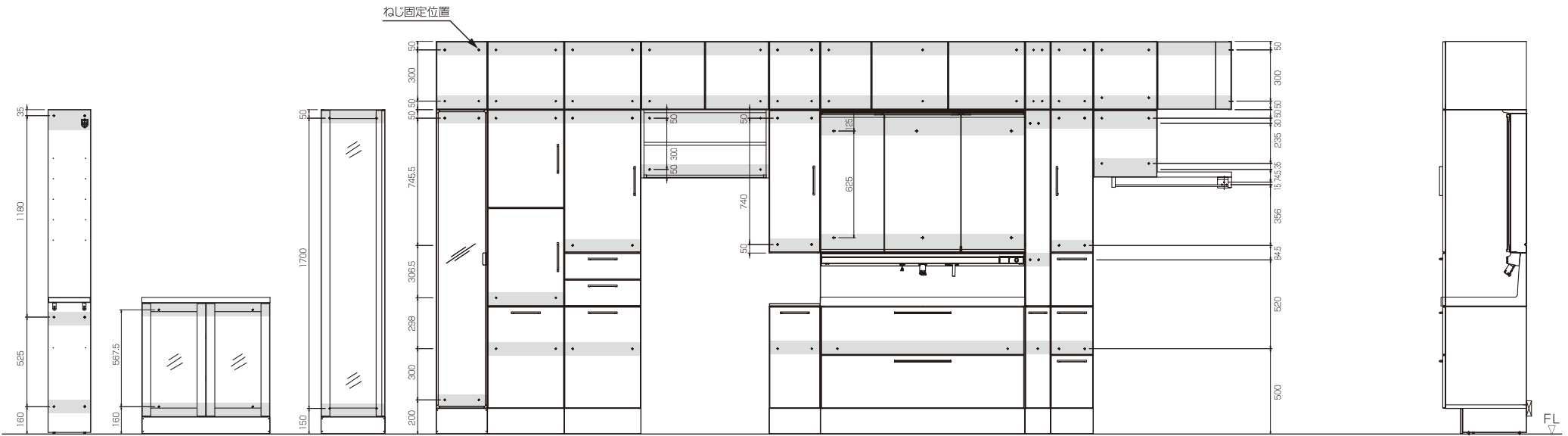
●トールキャビネット

品番	LCYS-155ML(R)	VJST[K]-155L(R)	LCYS-255HX-A LCYS-305HX-A LCYS-455HX-A	LCYS-255HK-A LCYS-305HK-A LCYS-455HK-A	LCYS-255(※5)HT-A LCYS-255(※5)HS(W)L(R)-A VJST[K]-255(※5)	LCYS-305DX-A LCYS-455DX-A	LCYS-305DK-A LCYS-455DK-A	LCYS-305DT-A LCYS-455DT-A	LCYS-305DS(W)L(R)-A LCYS-455DS(W)L(R)-A	VJST[K]-305DL(R) VJST[K]-455DL(R)	LCYS-305ML(R)-A VJS-305ML(R)
棚板	2枚	3枚	－	2枚	2枚	－	2枚	2枚	2枚	2枚	2枚
棚板受けダボ	8個	12個	－	8個	8個	－	8個	8個	8個	8個	8個
天板	－	－	1枚	1枚	－	1枚	1枚	－	－	－	－
両面テープ	－	－	2本	2本	－	2本	2本	－	－	－	－
固定用ねじ	A：4 セット	A：2 セット	B：2 セット	B：6 セット	B：6 セット	B：2 セット	B：6 セット	B：6 セット	B：6 セット	B：6 セット	B：4 セット
固定用ねじ （トラスφ4.0X50mm）	1本	1本	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キャビネット連結用ねじ （トラスφ4.0X25mm）	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本
天板固定用ねじ （トラスφ4.0X14mm）	－	－	4本	4本	－	4本	4本	－	－	－	－
網カゴ	小1個	小1個	－	－	－	大1個	大1個	大1個	大1個	大1個	小3個
タオル掛	1本	－	－	－	－	－	－	－	1本	1本	－
体重計収納	－	－	－	－	－	－	－	－	－	間口450サイズのみ1個	－

※5=305, 455

- | | |
|---|---|
| ●アッパーキャビネット
LCYU(VJU)-155C、255C、305C、455C
LCYU(VJU)-755C、905C、1005C、1205C | LCYS-255HX(K)(T)-A、305HX(K)(T)-A、455HX(K)(T)-A、LCYS-255HS(W)L(R)-A、305HS(W)L(R)-A、455HS(W)L(R)-A
LCYS-305DX(K)(T)-A、305DX(K)(T)-A、455DX(K)(T)-A、LCYS-305DS(W)L(R)-A、455DS(W)L(R)-A
VJST[K]-155L(R)、255、305、455、305DL(R)、455DL(R)、VJS-305ML(R) |
| ●ミドルキャビネット
LCYK(VJK)-252C | ●対面収納キャビネット
LCWS-372SA、LCVS-372SA、LCVB-752SA |
| ●ランドリーキャビネット
LCVKO-652、752; オープンタイプ | ●エンドパネル
LCWE-035、035T |

寸法図



取付前の確認

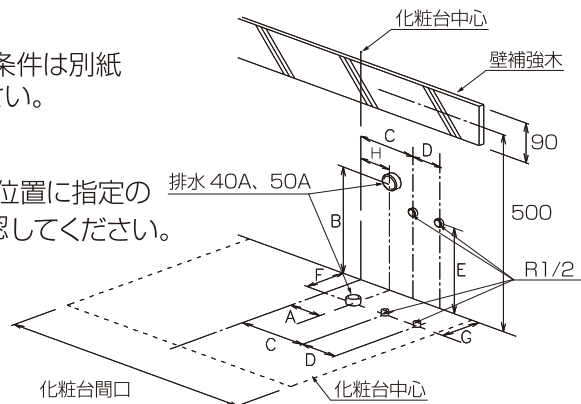
電気温水器・即湯システムについては、それぞれ付属の取付説明書をご覧ください。

☐ 給水・給湯の確認

給水・給湯の条件、水栓金具の設置条件は別紙
説明書(水栓金具に付属)をご覧ください。

□配管工事の確認

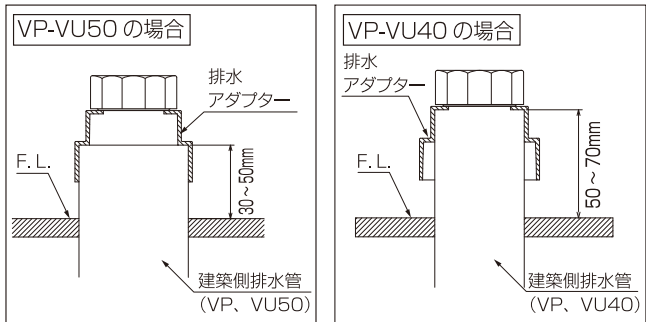
給水・給湯管および排水管が所定の位置に指定の
給排水管仕様で取り出しているか確認してください。



				(mm)
標準タイプ 即湯器取付時				電気温水器取付時
LC*の場合		VJ*の場合		
間口 (mm)	750	900・1000 1200	750・900 1000・1200	
A	100		50	センターから左に 50
B	750	380		ー (壁排水対応不可)
	800	430		
	900	480		
C	180	190		110
D	80	100		ー (給湯配管不要)
E	750	310		190
	800	360		240
	900	410		290
F	90			90
G	80			80
H	50			ー (壁排水対応不可)

※電気温水器・即湯システムは床排水のみの対応になります。

●床排水は下図のとおり取り出してください。



※取出寸法が短いと、排水トラップと接続できず、漏水を引き起こす恐れがあります。

- 壁排水の場合は市販の排水アダプターをご使用ください。
●建築側排水管と開口部に隙間がある場合は、シリコンでシーリングしてください。

☐ 床面の確認

- 設置する床は水平で、著しい凹凸や不陸がないこと。
 - 床面は強固で、ガタツキ、たわみが生じないこと。
- ※キャビネットがガタついたり、取付精度（納まり）が悪くなる恐れがあります。

☐ 壁面工事の確認



警告

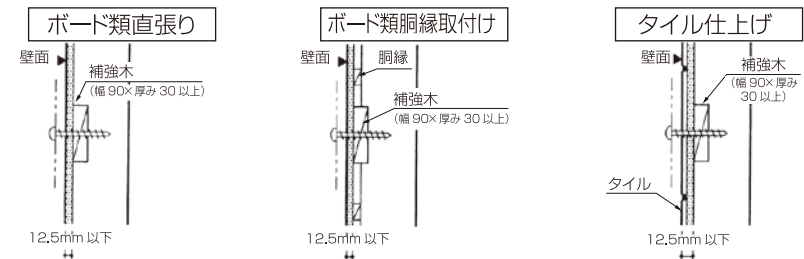
下記事項が守られていることを事前に確認し、取付けを行う。
※守られていないと取付強度が保てず、キャビネットが落下してケガをする恐れがあります。

- この説明書に記載されている「キャビネットを取付可能な壁面」以外には取り付けしないでください。記載の条件を満たさない場合は、壁を施工し直してください。
- 壁の不陸が5mm/2mを超える場合は、必ず壁を施工し直してください。
- 壁固定は指定のねじを、指定本数使用してください。

キャビネットを取付可能な壁面

〔乾式壁の場合〕

- 「ねじ固定位置」には必ず補強木（幅90 mm×厚み30mm以上）を設けてください。
- 補強木は必ず柱・間柱・縦桟木など建築躯体に固定してください。
※補強木の固定は、キャビネットの固定強度と同等以上になるよう、種類・数を選定してください。
- 壁固定ねじを補強木に届かせるため、壁仕上げの総厚さは12.5mm以下にしてください。

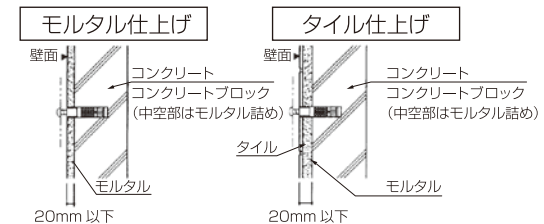


【壁面に補強木が取り付けられない場合】

- 取付壁全面に厚み12mm以上のJAS規格品合板を強固に取り付ける。「建築工事」

〔湿式壁の場合〕

- AYボルトを壁本体に届かせるため、壁仕上げの総厚さは20mm以下にしてください。
- 壁固定ねじに合ったAYボルトを使用して、キャビネットを取り付けてください。
- コンクリートブロック壁の場合、中空部はモルタル詰めしてください。



※本文中のねじ固定に関する記載は、乾式壁の場合についてです。
湿式の場合は、「湿式壁の場合の取付方法」の要領で行ってください。

＜湿式壁の場合の取付方法＞

- ①AYボルトの位置を確認し、位置出しをします。
- ②壁にφ7.5mmの下穴をあけ、切粉をよく取り除きます。
※下穴は電動ドリルを使用し正確にあけてください。
- ③AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取ります。
- ④キャビネットを壁面に当て、ねじ穴からボルトで固定をします。

(別途手配)

- ・洗面化粧台
AY ボルト：#KB-4X60T (AY)
※トラスφ4X60mm 2 本入り
- ・洗面化粧台以外 (アップパーキャビネットなど)
AY ボルト：#KB-4X60SC (AY)
※皿φ4×60mm 2本、連結フッシャー2個、化粧キャップ2個入り
AY ボルト：#KB-4X60WT (AY)
※トラスφ4X60mm 2 本、平フッシャー 2 個入り(取付穴φ7.5mm、深さ 60mm 以上)

化粧台の取付け

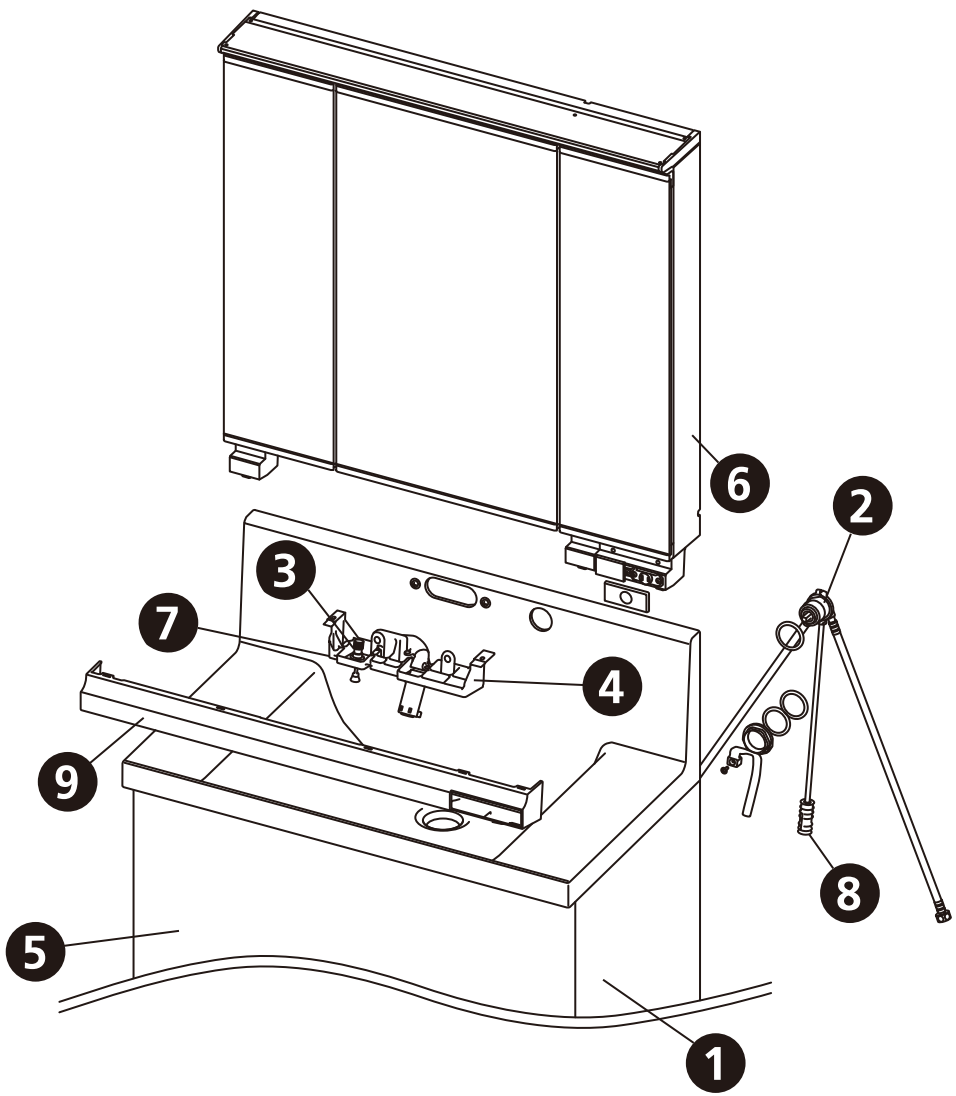
お願い

キャビネットの扉、アルミ枠タイプの扉は表面にキズが付きやすいため、取扱いには十分注意してください。

- キャビネットを壁に固定する際、扉が邪魔になるときは、扉を外して作業することもできます。
※キャビネットの扉の着脱方法は、後述の「扉の取付方法」「扉の取外方法」をご覧ください。
扉を外した場合は、必ず扉を取り付けてください。

取付手順とポイント

※必ずこの手順を守って、それぞれの取付説明書をご確認ください。



- ① ベースキャビネットの下準備
↓ 化粧台取説 P.3
※体重計収納の下準備はここで行います。
（体重計収納の取付説明書参照）
※電気温水器・即湯システムの下準備はここで行います。
（電気温水器・即湯システムの施工説明書参照）
※棚ユニットはここに取り付けます。
（棚ユニットの取付説明書参照）
- ② 水栓本体の取付け
↓ 水栓施説 表面右ページ
- ③ 水栓ベースプレートの仮固定
↓ 水栓施説 表面右ページ
- ④ 排水リリースの接続
↓ 化粧台取説 P.4
- ⑤ 化粧台の固定、排水トラップ・止水栓の取付け
↓ 化粧台取説 P.4
- ⑥ ミラーキャビネットの取付け
↓ ミラー取説 1 面鏡…P.3 3 面鏡…P.4
- ⑦ 水栓ベースプレートとミラーキャビネットの固定
↓ ミラー取説 P.7
- ⑧ シャワーホースの接続
※水栓の種類によって手順が異なります
↓ 水栓施説 裏面左ページ
- ⑨ スイッチパネルの取付け
↓ ミラー取説 P.8
- ⑩ 取付後の確認
※各部材の説明書をご確認ください
※取付手順「⑥ ミラーキャビネットの取付け」からはミラーキャビネットに同梱の取付説明書をご覧ください。

化粧台取説：洗面化粧台取付説明書

水栓施説：水栓金具施工説明書

ミラー取説：ミラーキャビネット取付説明書

1 ベースキャビネットの下準備

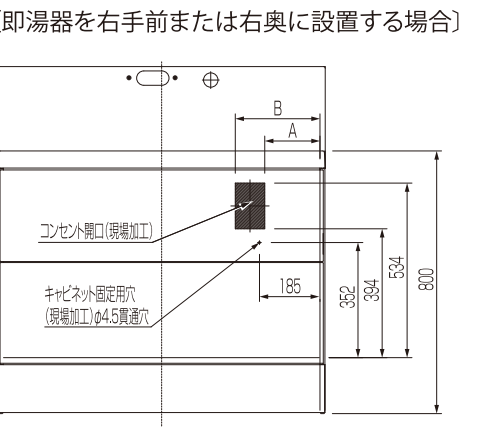
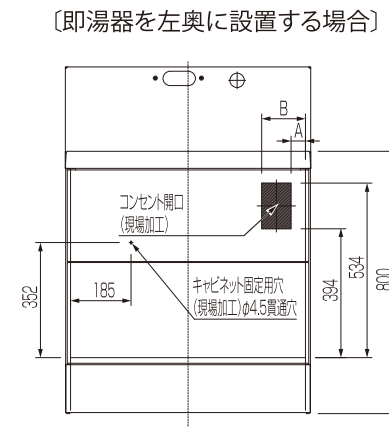
- 給水・給湯管および排水管の位置を確認してください。
（P.2「配管工事の確認」の一覧表を確認してください。）
また、給水・給湯管および排水管が大きく（±20mm 以上）ずれている場合は配管工事をやり直してください。
- 給水・給湯、排水の位置に合わせて化粧台に給水、給湯穴（φ30～45mm）、排水穴（φ55～60mm）をあけてください。

【即湯器を設置する場合】
必ず洗面化粧台を壁固定する前にキャビネットに穴加工してください。
穴加工する前に下記の表で即湯器設置場所を確認し、下図の通り穴加工してください。

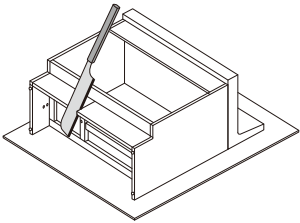
化粧台間口 設置位置	W750			W900			W1000			W1200		
	扉	引出	フルスライド	扉	引出	フルスライド	引出	フルスライド	引出	フルスライド	フルスライド	フルスライド
右手前	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—
右奥	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○
左奥	—	—	○	—	—	○	—	—	—	—	—	—

(mm)

化粧台 キャビネット間口寸法	コンセント位置	
	A(寸法)	B(寸法)
750	44	134
900	119	209
1000	169	259
1200	269	359



【体重計収納を設置する場合】
必ず洗面化粧台を壁固定する前に取り付けてください。
詳細については体重計収納に同梱の取付説明書をご覧ください。



体重計収納を設置する場合は、ベースキャビネットの下準備が必要です。

2 水栓本体の取付け

詳細は水栓金具付属の施工説明書をご覧ください。

3 水栓ベースプレートの仮固定

詳細は水栓金具付属の施工説明書をご覧ください。

化粧台の取付け

4 排水リリースの取付け

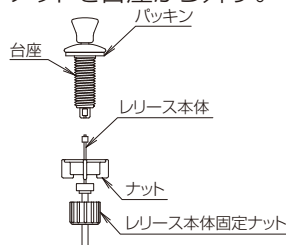


工具を使わない！

⚠ 注意

取付け時にリリースワイヤーを無理に曲げたり、強く引っ張ったりしない。
※排水栓の開閉不良の原因になります。

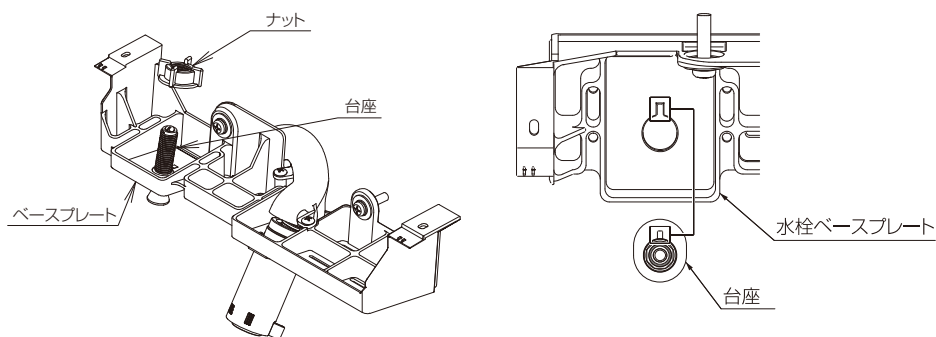
- (1) リリース本体固定ナット、ナットを緩め、リリース本体、ナットを台座から外す。



⚠ 注意

ツマミは絶対に外さない。
※一度外すと緩みやすくなり紛失する恐れがあります。

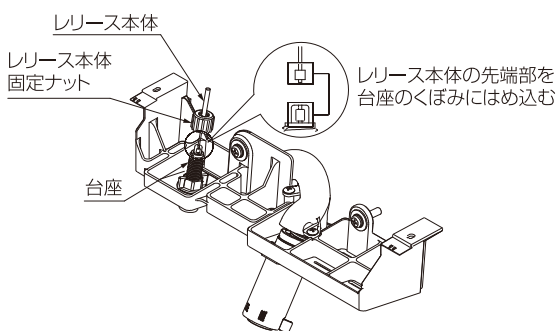
- (2) (1)で外した台座を水栓ベースプレートに取り付ける。



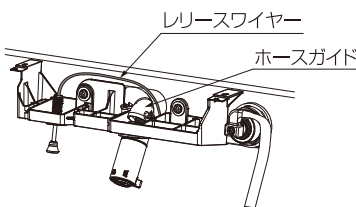
⚠ 注意

水栓ベースプレート開口形状に合わせて取り付ける。
※取付不良、破損およびスイッチパネルが取り付けられない原因になります。

- (3) リリース本体を台座にセットし、リリース本体固定ナットで固定する。



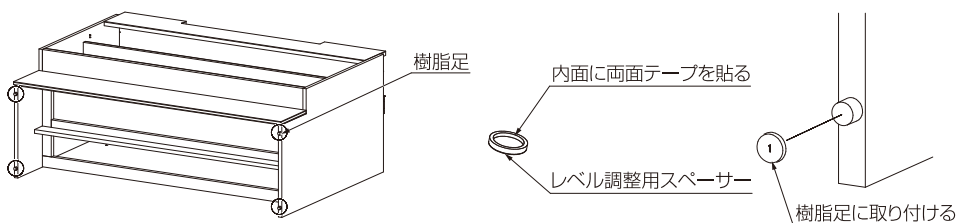
図のようにリリースワイヤーは、カウンター開口部からホースガイドの上を通し挟まないようにしてください。



5 化粧台の固定

化粧台を指定の位置に仮設置します。床の水平が出ていない場合、付属の高さレベル調整用スペーサーで水平になるよう調整してください。調整方法は下記手順とおり行ってください。

- (1) 高さレベル調整用スペーサーは3種類の高さがあります。裏面の数字を確認し、水平になるように3種類の高さレベル調整用スペーサーで調整する。
①: 1mm、②: 2mm、③: 3mm
(2) 高さレベル調整用スペーサーと樹脂足を両面テープで取り付ける。



⚠ 注意

高さレベル調整用スペーサーを取り付ける際は向きを確認し、数字が記載されている面を床面にして設置する。



数字記載面が床面設置となります。

- (3) 水平が出ていることを確認した後、固定用ねじで洗面化粧台を壁に固定する。

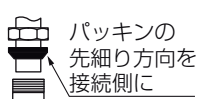
6 排水トラップの取付け



工具を使わない！

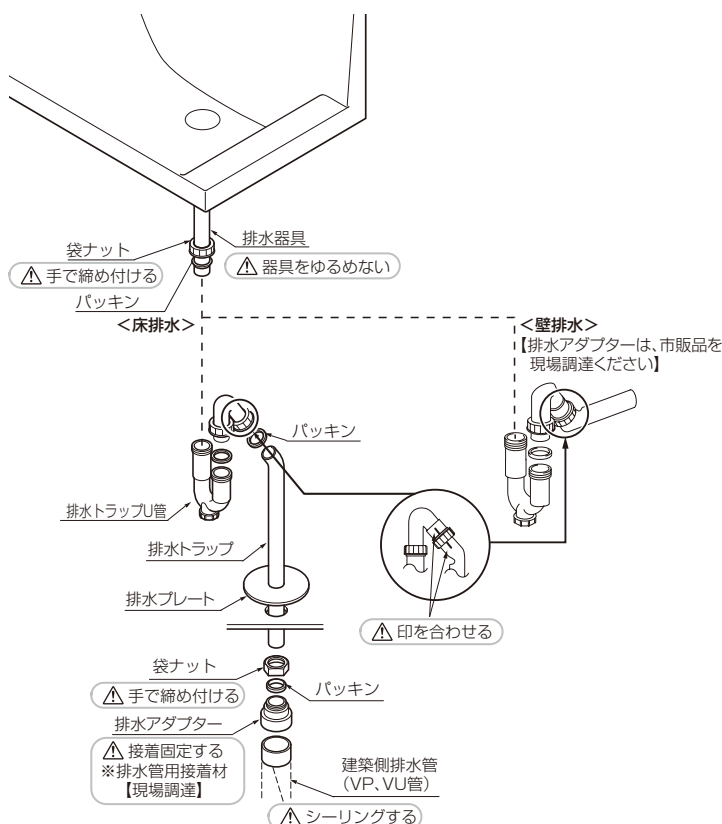
⚠ 注意

- パッキンの向きに注意する。
- 管は奥に当たるまで差し込む。



排水トラップのくぼみ

- 壁排水時、排水トラップのくぼみを建築側の継手やアダプターと重ねない。
- 接着に耐熱塩ビ用接着剤を使用しない。
※漏水し、家財などを濡らす拡大損害発生の恐れがあります。
- 排水管に干渉するものがないか確認する。
※干渉していると、接続部が外れ漏水を引き起こす恐れがあります。
- 排水トラップのナットの位置を化粧台の奥側に向ける。
※収納物が配管に当たり漏水を引き起こす恐れがあります。



7 止水栓の取付け

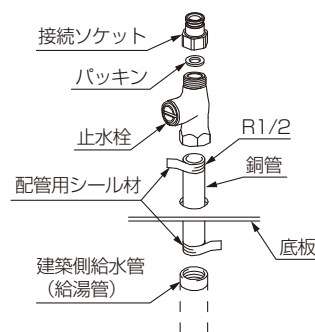
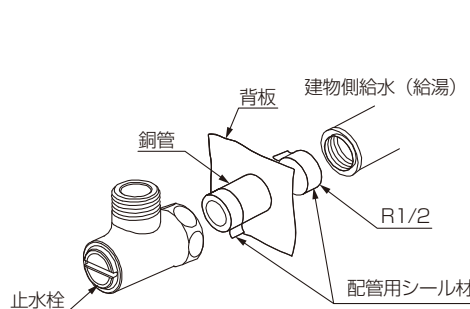
止水栓はメンテナンス・流量調節に必要なため、必ず取り付ける。
※止水栓は別途手配です。
※止水栓は銅管が付いた状態で出荷されます。必ず一旦外してシールしてください。

【壁給水の場合】

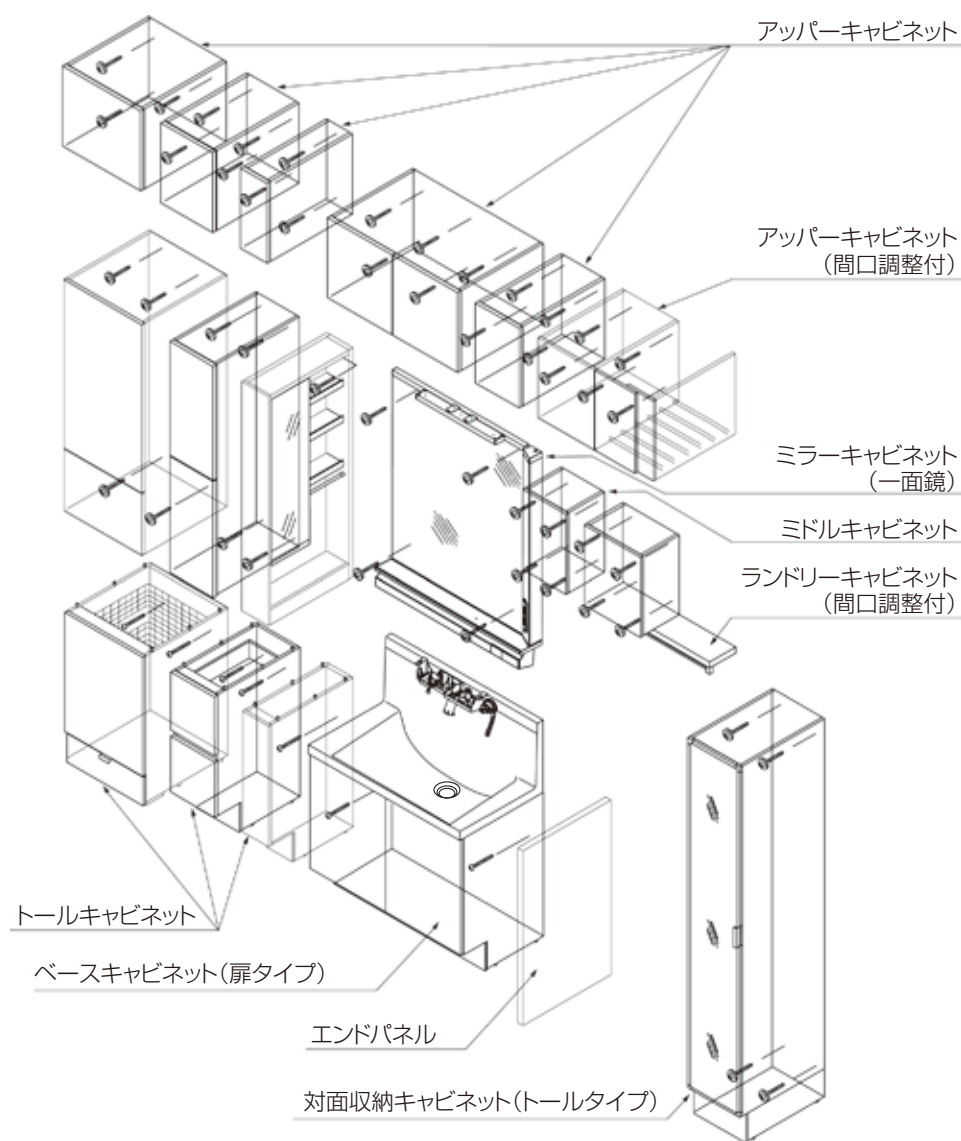
※止水栓手配品番
(一般地、寒冷地共通)
LF-3FK-MB

【床給水の場合】

止水栓長さは承認図をご確認ください。
※キャビネット高さ・水栓金具の種類によって配管長さが異なります。



周辺キャビネットの取付け



⚠ 注意

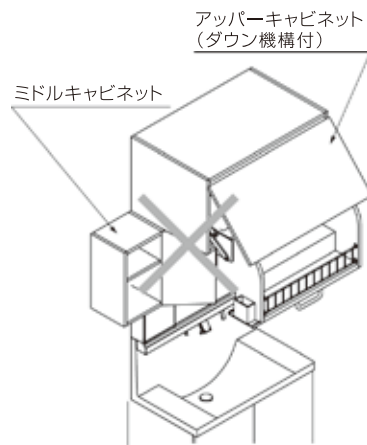
キャビネットの取付位置は、周囲の可動物と扉が当たらないことを確認する。
※使用中、扉が当たり、破損・落下し、ケガをする恐れがあります。

アッパーキャビネット (間口調整付)、ランドリーキャビネット (間口調整付)、L型収納パックは、製品同梱の取付説明書をご覧ください。

1 ミドルキャビネット・ランドリーキャビネットの取付け

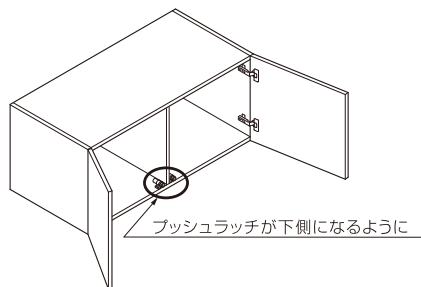
キャビネットの天面をミラーキャビネットの上端に合わせて設置し、キャビネットの内側より固定用ねじで壁に固定する。

※アッパーキャビネット (ダウン機構付) の横に設置する場合は扉の吊本がアッパーキャビネット (ダウン機構付) の逆側にくるように設置して下さい。アッパーキャビネット (ダウン機構付) の収納部を降ろした場合、扉が干渉します。

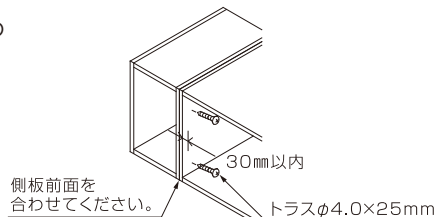


2 アッパーキャビネットの取付け

(1) ミラーキャビネットまたはミドルキャビネットの上に設置し、キャビネットの内側より固定用ねじで壁に固定する。

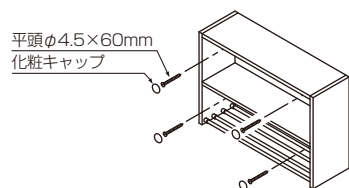


(2) 隣接するアッパーキャビネットがある場合は連結用ねじで固定する。



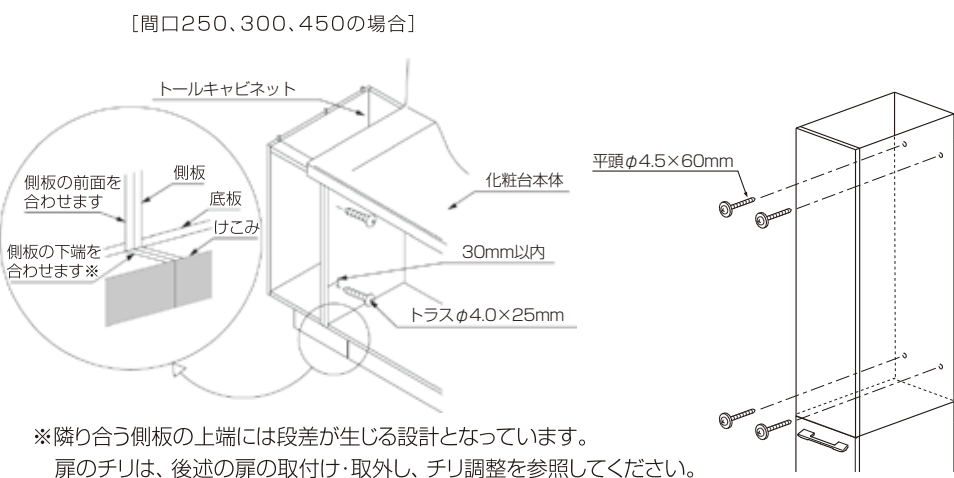
3 ランドリーキャビネットの取付け

キャビネットの上面をミラーキャビネットの上端に合わせて設置し、固定用ねじで壁に固定する。



4 ツールキャビネットの取付け

- (1) 下部キャビネットを化粧台の隣に仮設置する。
- (2) けこみの高さが合わない場合はツールキャビネット (下部) のアジャスターボルトで調整する。
- (3) キャビネット同士を連結用ねじで固定する。
- (4) 下部キャビネットを固定用ねじで壁に固定する。
- (5) 下部キャビネット上面のダボに上部キャビネットをはめ込む。
- (6) 上部キャビネットを固定用ねじで壁に固定する。



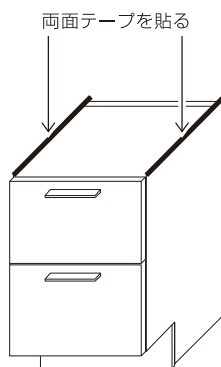
5 下部収納への天板の取付け

■取付前の確認

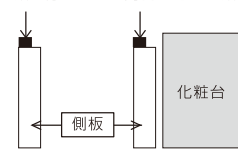
下部収納を化粧台の左右どちらに設置するのかを確認する。
※設置場所によって取付方法が異なります。

■天板の取付け

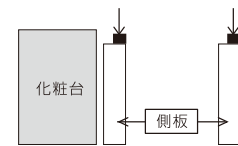
- (1) 側板の上端面に両面テープを貼り付ける。
※設置場所によって、両面テープを貼り付ける位置が異なります。



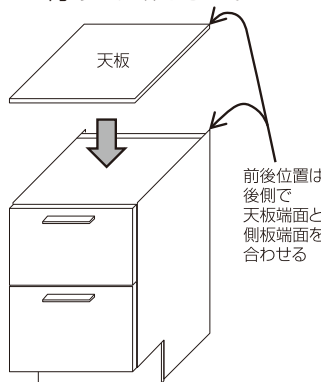
●化粧台の左側に取り付ける場合
外側に寄せて貼り付ける 内側に寄せて貼り付ける



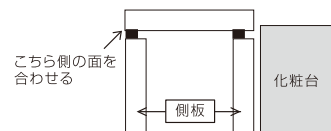
●化粧台の右側に取り付ける場合
内側に寄せて貼り付ける 外側に寄せて貼り付ける



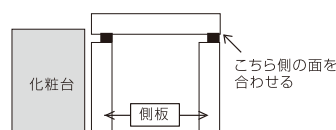
- (2) 両面テープのリケイ紙を剥がし、天板を仮固定する。
※設置場所によって、天板を取り付ける位置が異なります。
外側 (化粧台の無い側) の側板と天板端面を合わせるように取り付けてください。



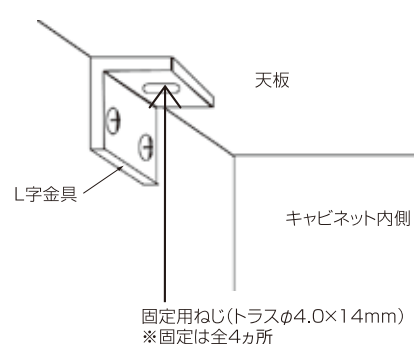
●化粧台の左側に取り付ける場合



●化粧台の右側に取り付ける場合



- (3) 固定用ねじで天板をキャビネットベースに固定する。



周辺キャビネットの取付け

6 対面収納キャビネット(ツールタイプ)の取付け

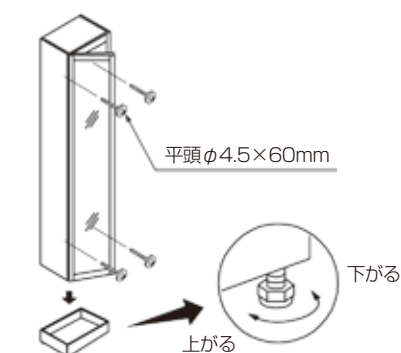
- (1) アジャスターボルトでキャビネットの水平を調整する。
- (2) キャビネット部の上下方向を確認して、けこみ部に取り付ける。
- (3) 固定用ねじで壁に固定する。

⚠ 注意

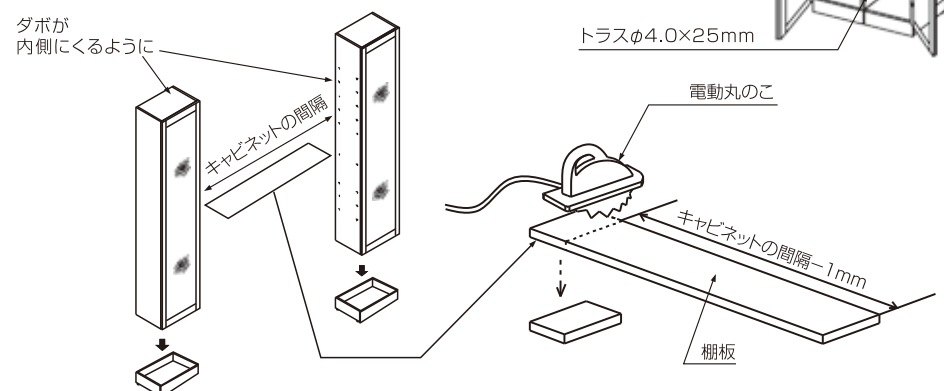
扉の吊元を確認し壁固定する。
(LR共通仕様です)

※ 2台以上隣接するプランで、キャビネット間に隙間が生じる場合は、連結用ねじで連結します。(蝶番の下方、上中下3カ所)

※ 棚板 (BB-LCW-T130) が付く場合
ダボ穴が内側へくるようにキャビネットを設置してください。
キャビネットのダボ穴にダボを差し込みます。
棚板をダボの上に設置します。
棚板をカットする場合はキャビネットの間隔-1mmでカットします。



【2台以上隣接する場合】



オプション品の取付け

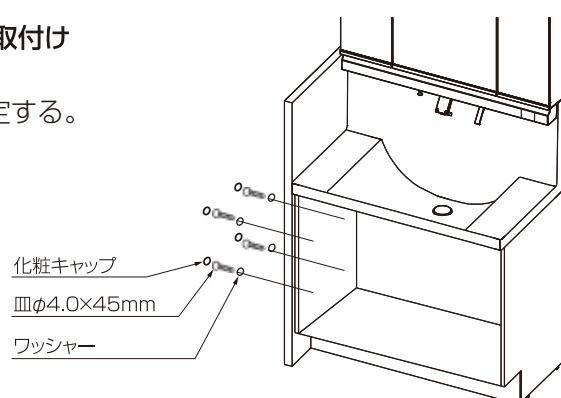
- サイドバスケット(BB-TD1-23)の取付け
右図のように同梱のフックを固定用ねじで取付けた後、バスケットを引っ掛ける。

- 扉用バスケット(BB-EX5)の取付け
右図のように同梱のフックを固定用ねじで取付けた後、バスケットを引っ掛ける。

(mm)			
間口	キャビネットタイプ	A寸法	B寸法
750	扉タイプ	60	135
	引出タイプ	100	175
900	扉・引出タイプ	60	135
1000	引出タイプ		
1200			

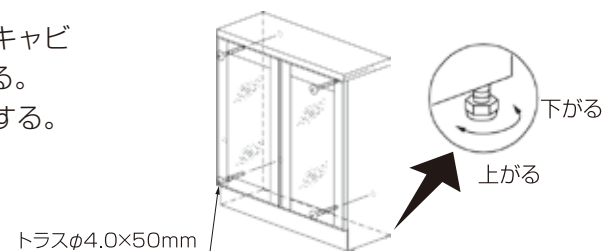
- エンドパネル(LCWE-035)の取付け

- (1) エンドパネルを設置する。
- (2) 下穴位置に固定用ねじで固定する。
(4カ所)



7 対面収納キャビネット(ベースタイプ)の取付け

- (1) アジャスターボルトでキャビネットの水平を調整する。
- (2) 固定用ねじで壁に固定する。

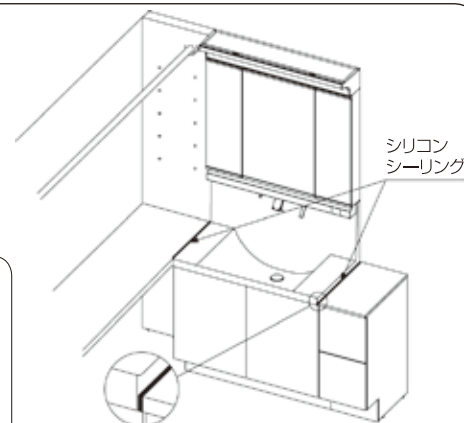


ボウル周囲のシール

- 洗面ボウルと壁あるいは隣接キャビネットとの合わせ部をシリコンでシーリングする。
- L型収納バックと隣接する場合は、棚板とカウンターとの合わせ部にもシリコンシーリングする。

⚠ 注意

必ずシーリングする。
※ シーリングしないと合わせ部から水が浸入し、キャビネットや壁・床を傷める恐れがあります。



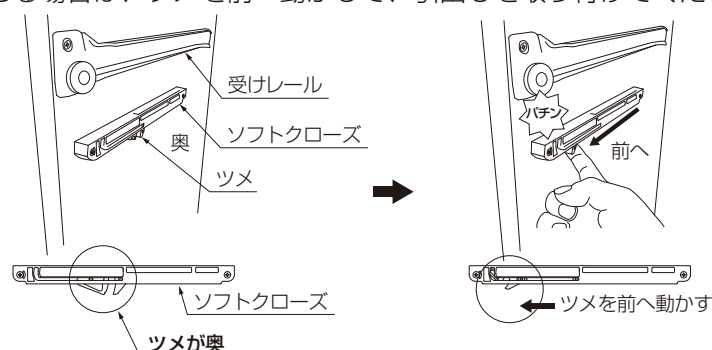
取付後の確認

- ☐ 取付ねじが十分に締まっていること。
- ☐ ガタツキ・壁とキャビネットの隙間がないこと。
※ ガタツキや隙間がある場合は、ねじ位置を変えて取り付け直してください。
- ☐ 扉のチリがそろっていること。
※ そろっていない場合は、「調節方法」にて確認し、調節してください。
- ☐ きれいに清掃する。
※ 柔らかいぬれた布で拭き取ってください。
※ 排水栓に付着した汚れも確実に拭き取ってください。

お願い

取付後は洗面ボウル表面を養生し、後の工事などで傷つかないようにする。
※ 洗面ボウルが傷つくと、補修しても完全に元の状態には戻りません。

- ☐ 水栓金具レバーハンドルの干渉確認
※ 水栓金具のレバーハンドルを湯側・水側それぞれ全開にし、他部材と干渉しないことを確認してください。干渉する場合はベースプレートの固定ビスを緩めて、取付位置をずらすか、水栓本体を取り付け直して下さい。詳細は水栓金具付属の施工説明書をご覧ください。
- ☐ 流量の確認
(1) レバーハンドルを全開にしたときに、水側または湯側の流量が約 7L/min を超える場合は、湯水の流量が同じになるように、止水栓で流量を調整してください。
※ 7L/minの目安は、市販の洗面器(容量3L)をいっぱいにするのに25秒かかります。
(2) 排水栓を開け、水を一度に排出し、排水トラップ、排水管の各接続部からの水漏れのないことを確認します。
- ☐ 配管の取り回し
※ レバーハンドルを開閉させながら、給水・給湯ホースが大きく振動して異音が発生していないことを確認してください。異音が発生する場合は接触部に保護材を巻くなどの対策を行ってください。
- ☐ 吐水口の掃除
※ 通水確認時に吐水口の掃除を実施してください。
- ☐ 排水リリースの確認
※ 排水栓を数回開閉させ、スムーズに動くか確認してください。
うまく作動しない場合、下記項目を確認してください。
 - 連結部のナットが緩んでいないか。
 - ワイヤーが正しく溝にはまっているか。
- ☐ 引出しのソフトクローズが働くこと
LCY1: ベースキャビネット 引出タイプ・ツールキャビネット (アレンジ収納) 引出タイプ
※ ソフトクローズが働かない場合は、引出しを取り外して、キャビネット内の左側にあるソフトクローズのツメの位置を確認してください。ツメが奥にある場合は、ツメを前へ動かして、引出しを取り付けてください。



調節方法

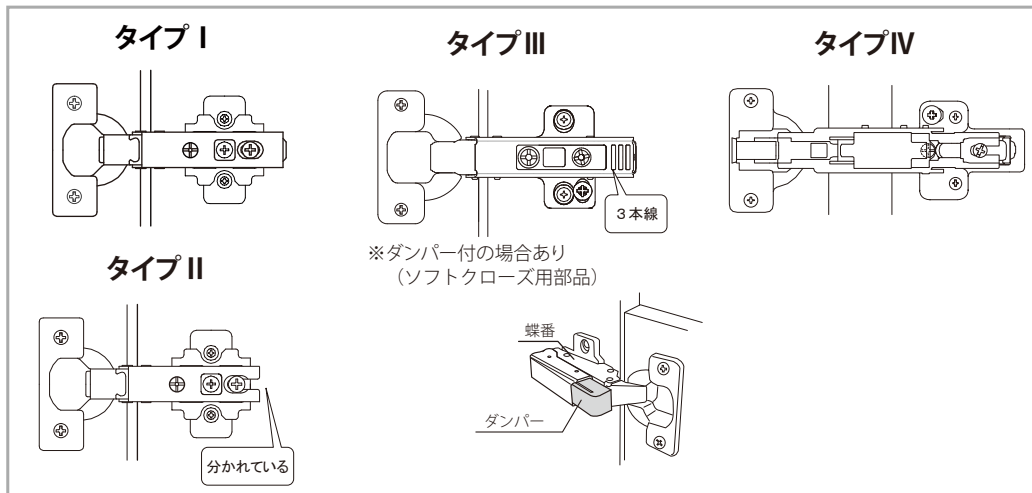
《扉の調節》

注意

扉の取付け後は蝶番が台座へしっからはまっていることを確認する。
※扉の外れや落下によりケガをする恐れがあります。



●蝶番種類を確認し、調節してください。

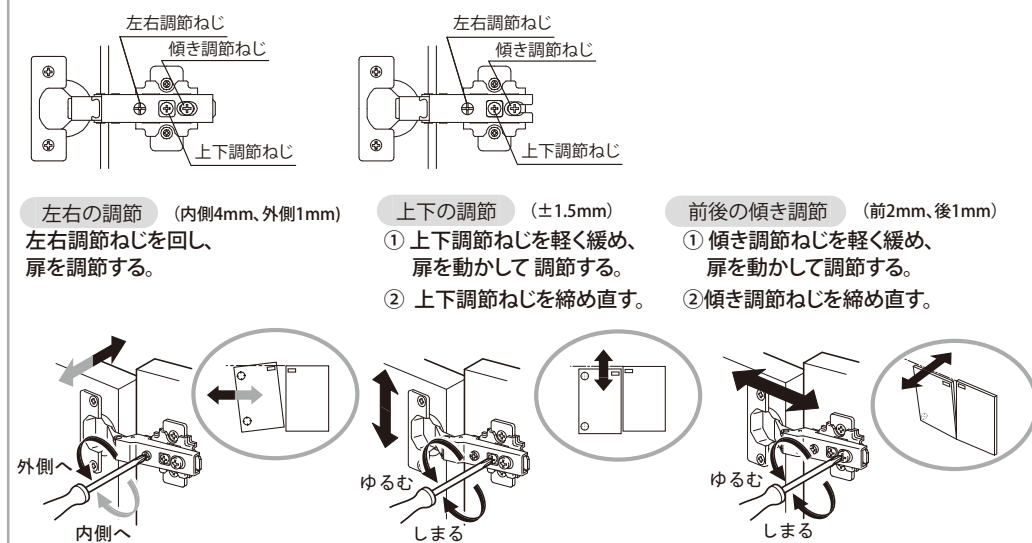


- 扉の調節は、蝶番のねじで行います。扉を取り外す必要はありません。
- 両開きの場合で片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉を交互に調節してください。
- 調節は、必ず手回しプラスドライバーを使用してください。

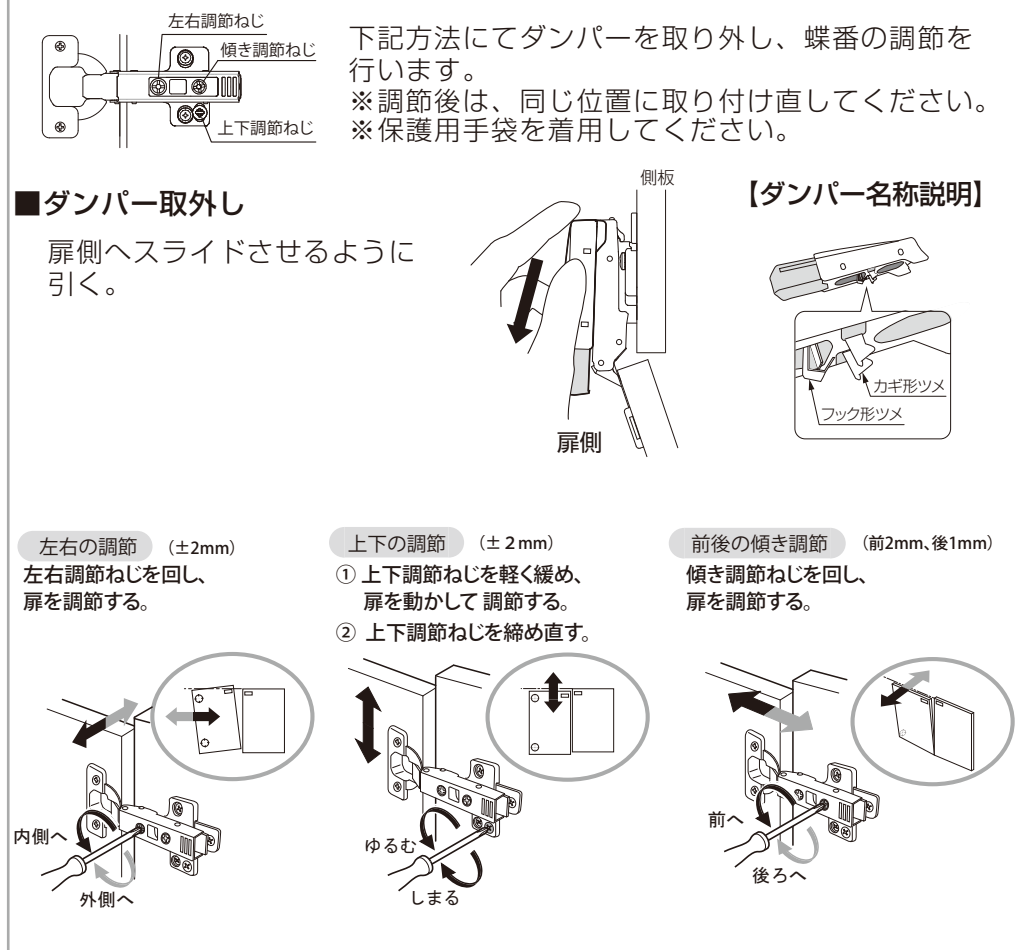
注意

- 調節ねじ以外のねじを緩めたり、外したりしない。
- 調節後は、緩めたねじがしっかり締め付けられていることを確認する。
※扉が落下してケガをする恐れがあります。

タイプⅠ、Ⅱ

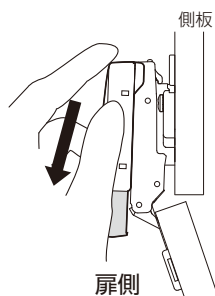


タイプⅢ

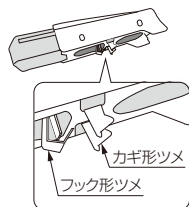


ダンパー取外し

扉側へスライドさせるように引く。

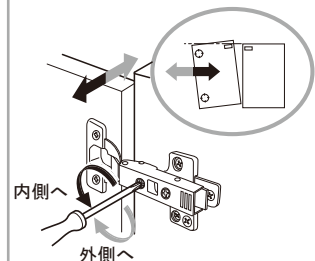


【ダンパー名称説明】



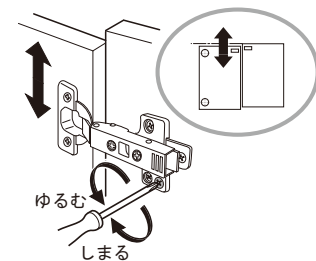
左右の調節 (±2mm)

左右調節ねじを回し、扉を調節する。



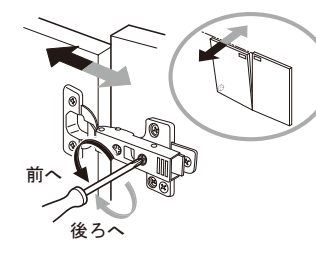
上下の調節 (±2mm)

- ① 上下調節ねじを軽く緩め、扉を動かして調節する。
- ② 上下調節ねじを締め直す。



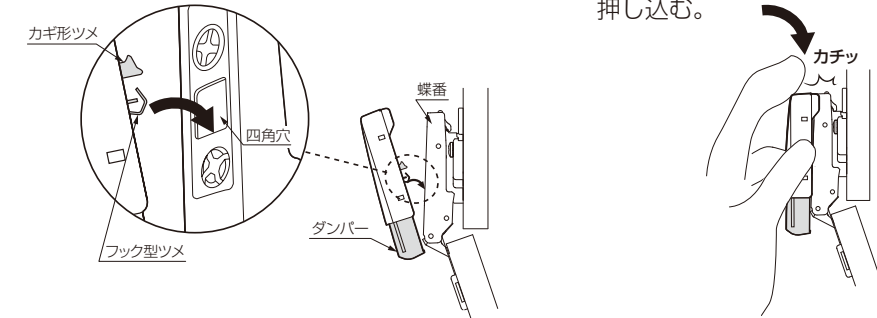
前後の傾き調節 (前2mm、後1mm)

傾き調節ねじを回し、扉を調節する。

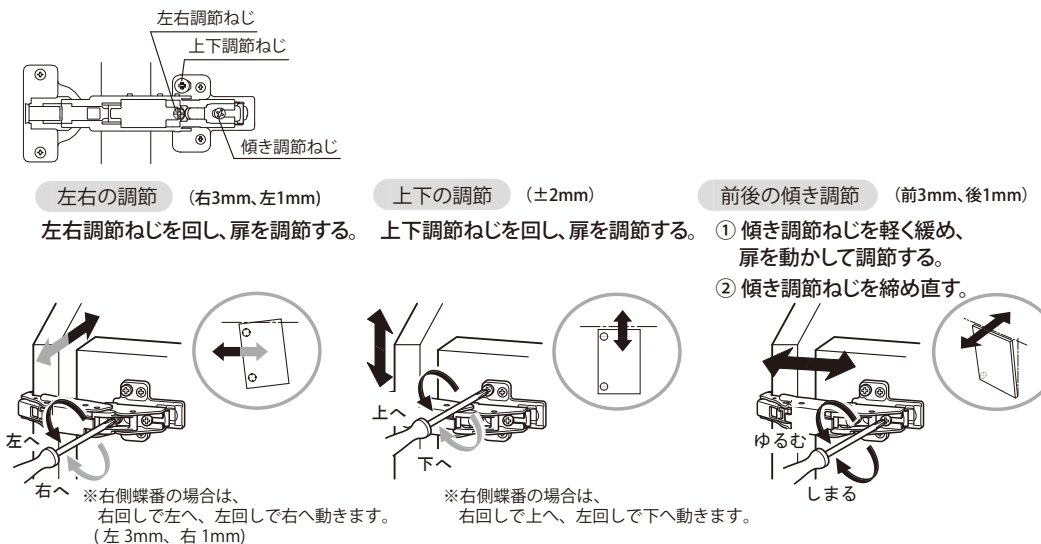


ダンパー取付け

- ① フック形ツメを蝶番の四角穴手前に当てる。 ※かぎ形ツメを優先に差し込むと入りません。
- ② ダンパーを蝶番にまっすぐ合わせながら、奥側から「カチッ」と音がするまで押し込む。



タイプⅣ



取外し

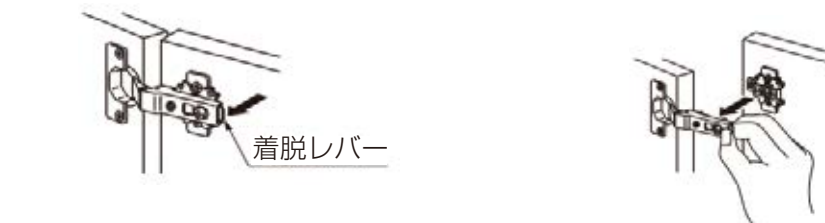
●ねじ固定式の場合

- ① Aねじを手回しプラスドライバーで緩める。
- ② 扉を矢印の向きに引っ張って取り外す。



●ワンタッチ式の場合

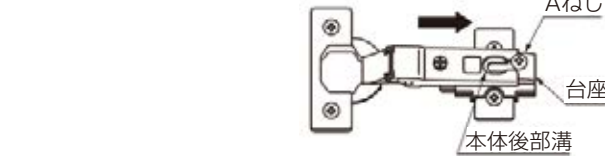
- ① 着脱レバーを手前に引っ張る。
- ② 蝶番を矢印の向きに引っ張って取り外す。



取付け

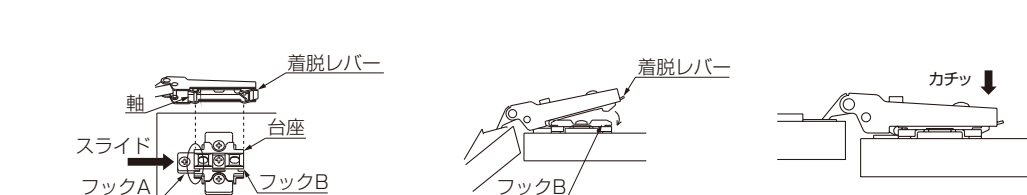
●ねじ固定式の場合

- ① 本体後部溝を台座固定ねじに差し込む。
- ② Aねじを締め付ける。



●ワンタッチ式の場合

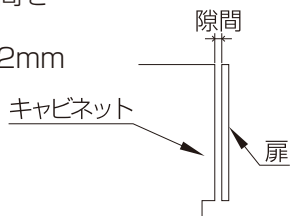
- ① 扉を矢印の向きにスライドさせて蝶番の軸をフックAに引っ掛ける。
- ② 着脱レバーをフックBに合わせる。
- ③ 蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押す。



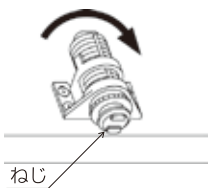
プッシュラッチの調節

洗面化粧台 (VJ)・アップーキャビネット・ミドルキャビネット・トールキャビネットの場合

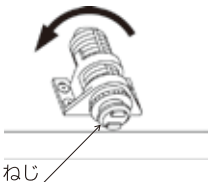
扉と本体の隙間を確認する。
基準値：隙間2mm



●扉の隙間が大きい場合
プッシュラッチのねじを右に回す。



●扉の隙間が小さい場合
プッシュラッチのねじを左に回す。

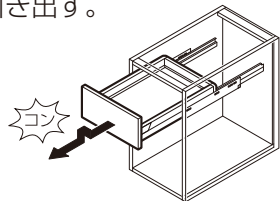


引出しの取外し・取付け、前板の調節

フルスライド、トールキャビネット、ランドリータイプ

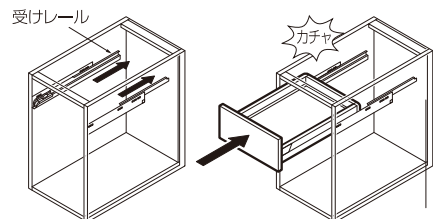
■引出しの取外し

引出しを止まるところまで引き出し、一度少し上に持ち上げ(コンという音がしてロックが外れます)てから、さらに手前へ引き出す。



■引出しの取付け

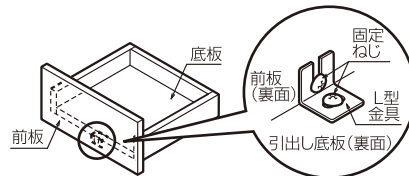
- ①ユニット本体側の受けレールを奥まで押し込む。
- ②引出しを受けレールに載せ、奥まで押し込む。
※カチャと音がしてロックされます。
※取り付け後は、数回引出しを開閉させ正確に取り付けられている(ガタツキ・異音がないか)ことを確認します。



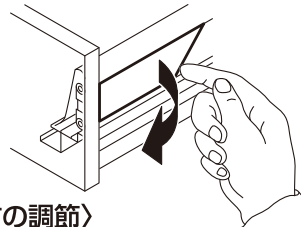
■前板の調節

●引出し調節前の準備

引出し前板裏面と引出し底板の間に、L型金具が取り付けられています。引出し調節(前板の傾き調節以外)を行う際は、必ず固定ねじを緩めて(金具が動く程度)から行ってください。また、調節完了後は必ず固定ねじを締め付け直してください。

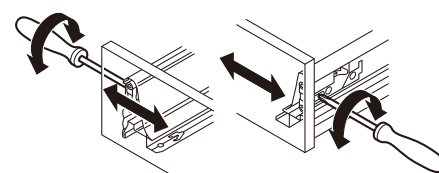


●引出し本体横の化粧カバーを取り外す。



〈左右の調節〉

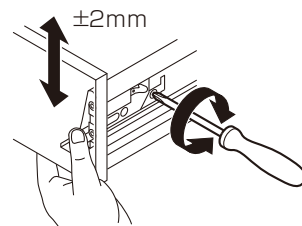
図のように、左右調節ねじを回して調節する。
右へ移動する場合：
右側ねじを右へ回し、左側ねじを左へ回す
左へ移動する場合：
右側ねじを左へ回し、左側ねじを右へ回す
※調節は、引出し本体の左右共に行ってください。
※調節範囲：左右方向へ各 1mm(計 2mm)程度



〈上下の調節〉

図のように、上下調節ねじを回し調節する。

※調節範囲:上下方向へ各2mm程度

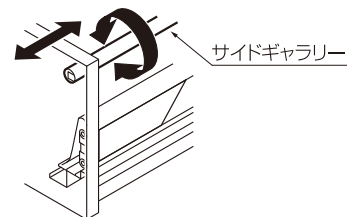


〈前板の傾きの調節〉

(サイドギャラリー付き引出しのみ対応可能)
図のように、サイドギャラリー(パイプ部)を回し、前板の傾きを調節する。

前板を手前へ倒す場合：
左へ(前板正面から見て)回す
前板を後方へ倒す場合：
右へ(前板正面から見て)回す

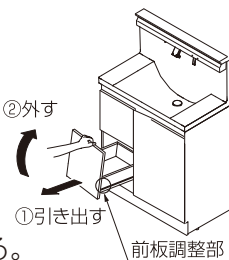
※サイドギャラリー後方の樹脂部品(グレー色)のねじ部に隙間が残りますが、この隙間は調節しろです。



トールキャビネット、引出しタイプ(LCY1)

■引出しの取外し

- ①引出しを最後まで引き出す。
- ②引出しを持ち上げて外す。



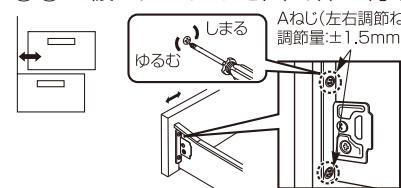
■引出しの取付け

「取外し」と逆の手順で取り付ける。

■前板の調節

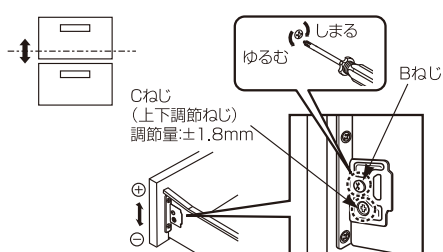
〈左右方向の調節〉

- ①Aねじを4カ所すべて緩める。
- ②引出前板を左右に動かして調節する。
- ③①で緩めたAねじを固く締め付ける。



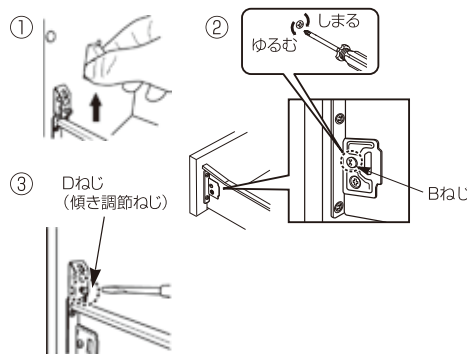
〈上下調節〉

- ①Bねじを緩める。(左へ回す)
- ②Cねじを回して調節する。
上に動かす場合:ねじを右に回す
下に動かす場合:ねじを左に回す
- ③①で緩めたBねじを固く締め付ける。



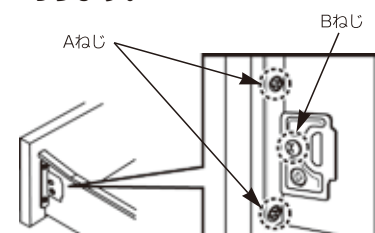
〈前板の傾き調節〉

- ①カバーを上引き抜いて外す。
- ②Bねじを緩める。(左へ回す)
- ③Dねじを回して調節する。
手前に倒す場合:ねじを右に回す
後ろに倒す場合:ねじを左に回す
- ④②で緩めたBねじを固く締め付ける。
- ⑤①で外したカバーをはめ込む。



⚠ 注意

調節後、Aねじ・Bねじが固く締まっていることを確認する。
※ねじが緩んでいると、引出前板が外れて落下し、ケガをする恐れがあります。

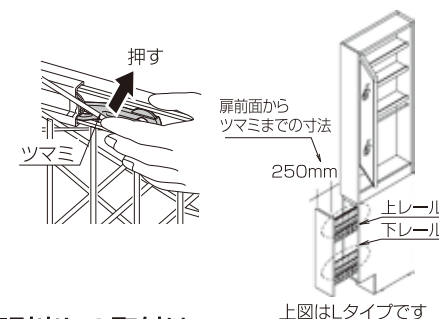


トールキャビネット、引出しタイプ(VJ)

トールキャビネット(鏡扉タイプ)の場合

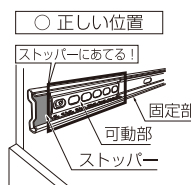
■引出しの取外し

- ①引出しを最後まで引き出す。
- ②上下レールのツマミを押し、そのまま手前に引き出す。



■引出しの取付け

- ①キャビネット本体側のレールを手前に引き出し、引出し側のレールと合わせる。
- ※レール内部の可動部の位置に注意して取り付けてください。ずれた位置で取付けた場合、レールが破損し、動作不良の原因となる恐れがあります。



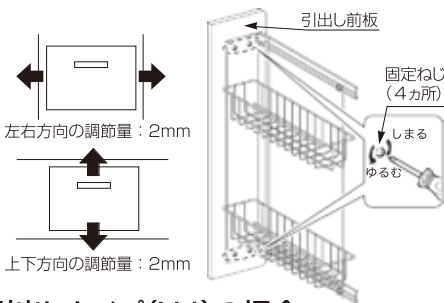
- ②引出しを最後まで押し込む。

⚠ 注意

取付後は、数回開閉させ、正しく取り付けられていることを確認する。
※使用中に外れてケガをする恐れがあります。

■前板の調節

- ①前板の固定ねじを緩める。
- ②引出しを前板を上下左右に動かして、正しい位置にする。
- ③①で緩めたねじを固く締め付ける。



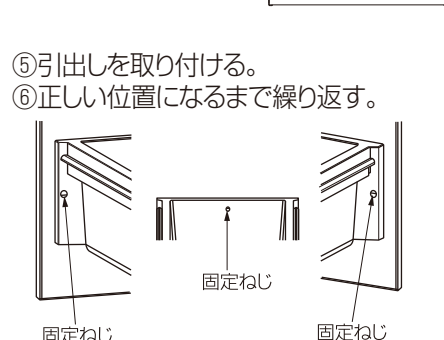
引出しタイプ(VJ)の場合

■引出しの取外し

引出しタイプ(LCY1)と同様の手順で取外し・取付けをする。

■前板の調節

- ①引出しを取り外す。
- ②図の位置にある左右中央の固定ねじを手回しプラスドライバーで緩める。
- ③上下左右に調節する。
- ④手回しプラスドライバーで固定ねじを締め付ける。



- ⑤引出しを取り付ける。
- ⑥正しい位置になるまで繰り返す。

